



西海市  
The SAIKAI  
Municipal  
Assembly News

平成27年11月4日発行

# ぎがし だより No. 41



## おもな内容

- 市民と議会のつどいのお知らせ……………P 2
- 平成27年第1回西海市臨時議会……………P 2
- 平成27年第3回西海市定例会……………P 3～P 5
- 一般質問……………P 6～P11
- 常任委員会調査報告……………P12～P13
- 市民の声、編集後記ほか……………P14

# 市民の皆さん、 何人ご存知 ですか??

(解答は、裏表紙にあります)

# 『市民と議会のつどい』を開催します!!



平成27年2月に試行的に行なった「市民と議会のつどい」の様子

西海市議会では、市民の皆さまの意見を聴きし、議会活動に反映させるため、「市民と議会のつどい」を開催いたします。皆さまがお住まいの地域が抱える課題等について、市議会と意見を交わして頂き、より住みやすいまちづくりにご協力ください。

市内各地区において下記の表のとおり開催しますので、是非ご参加ください。

日時	地区	場所
11/18(水) 19時～	西彼地区	西彼農村環境改善センター
	西海地区	西海公民館
11/19(木) 19時～	大瀬戸地区	大瀬戸コミュニティセンター
	大島地区	大島離島開発総合センター
	崎戸地区	崎戸中央公民館

## 議長あいさつ



西海市議会議長  
佐嘉田 敏雄

『市民と議会のつどい』は、こちらが用意しましたテーマについて皆さまからご意見を頂戴すること、テーマにこだ

わらず広く皆様から議会に対するご意見をお聴きすることを目的としております。また、我々も個人的に考えます事をお話ししながら、意見交換を行って参りたいと考えております。

皆さまから、頂戴しましたご意見につきましては、今後政策を立案していくための参考にさせていただければと思っておりますので、どうぞご参加いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

# 平成27年第1回臨時議会

会期 8月12日【1日間】

第1回臨時議会では、市長提出の議案等4件を審議しました。

はじめに、環境政策課のし尿くみ取り用の公用車が平島地区で起こした物損事故について、市長の専決処分により、被害者の方に対する損害賠償の額を定め和解が成立したため、その報告がありました。

また、ほかに江島小中学校の改築や大島・崎戸地区の簡易水道の統合に関して、3件の工事請負契約の締結に関する議案が提出され、各常任委員会に付託された上で慎重な審査が行われました。

### 付託先委員会

- ・総務文教常任委員会：1件
- ・産業建設常任委員会：2件

### 江島小中学校の新しい校舎を建設します。

総務文教常任委員会では、江島小中学校改築工事にかかる工事請負契約の締結に関する議案を審査しました。

江島小中学校は、昭和30年代から40年代にかけて建設されたもので、老朽化が進み、耐震性もないことから、同じ場所に新しい校舎を建設するものです。

審査の過程では、次のような質疑応答がありました。

**質疑** この江島小中学校は、地域の避難所になっていると思うが影響はないか。

**答弁** 江島小中学校の体育館が避難所として指定されており、この体育館については平成23年度に耐震化が終了しており、今後も学校教育に支障のない範囲で避難所として受入れ体制を構築して行く。

**質疑** 新たに木造の校舎が建てられるが、市内あるいは県内の木材を使用するの

**答弁** 必要量を調達できるかという問題もあるので検討が必要である。少なくとも県内産を使用できればと思うが、今後の調達状況によると考えている。

## 大島・崎戸地区の水道施設を統合します。

産業建設常任委員会では、大島・崎戸地区の簡易水道を統合するための工事請負契約の締結に関する議案を審査しました。

大島・崎戸地区に現在ある浄水場は、老朽化がひどいため、新たな浄水場施設を西海南中学校跡地に建設するものです。新たな浄水場は、平成28年度末の完成が予定されており、完成すれば、大島・崎戸地区には伊佐ノ浦からの水がこの浄

水場から送られるようになります。審査の過程では、次のような質問がありました。

**質疑** 大島・崎戸地区の簡易水道を統合するための事業費はどのくらいか。

**答弁** 配管や施設の建設も含めると約9億8,000万円ぐらいになる。

**質疑** 伊佐ノ浦ダムの水が足りなくなったりしないのか。

**答弁** 新たな水源を確保するためにボーリングをして地下水を確保するなどを行っていく。

# 平成27年第3回議会定例会

会期

9月7日～25日【19日間】

第3回定例会で審議された議案は左記のとおりです。

市長提出議案…26件

請願…2件

計28件

また、右記の議案中、各常任委員会に付託された22件の議案と請願2件については委員会にて、担当部局から説明を受

安全保障制度の法整備に反対する意見書採択を求める請願が不採択となりました。

請願第4号 新しい安全保障制度の法整備に反対する意見書採択願

審査の過程では、各委員から様々な意見が出されましたが、その主な内容は次のとおりです。

・この採択願の内容には、法律の内容に沿っていない、法律上読み取れない内容の文言が含まれている。

・近隣諸国やアジアを取り巻く現状から、何らかの法整備が必要である。

・反対する者は戦争法案と言うが、政府が戦争に向かっているとは思えない。

・世界44か国もの国々が日本の積極的平和主義に賛同しているし、日本も1国のみでは国際社会の中でやって行けない。

・ソロモン諸島で内戦が起きた際に自衛隊が邦人を助けに来ることが出来ず、他国の軍が邦人救出に当たってくれたという事例もある。

・既に6月議会で同じ趣旨の請願をこの同じ委員会ですら採択している。これらの意見を踏まえた議論を経て、



本会議の様子

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決定したものです。

予算決算常任委員会では2件の議案を審査しました。

議案第76号 平成27年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算それぞれ24億2,272万3,000円を追加し、220億2,739万2,000円とした補正予算案が上程され、原案のとおり可決されました。概要については、次の通りです。

主な議案については3～5ページに記載しておりますが、全ての議案名と結果については、西海市ホームページをご覧ください。また、議会事務局へお問い合わせください。



予算決算常任委員会の様子

パールタウンせいひ追加造成工事測量  
調査設計業務委託料について

5件の委託事業の実施に係る823万円の予算が計上されました。その内、西彼町の「パールタウンせいひ」の追加造成工事測量調査業務委託について、次のような質疑がありました。

**質疑** 残りは何区画あるのか。

**答弁** 5区画残っている。

**質疑** なぜ、まだ売れ残っているのに新たに造成しようとしているのか。

**答弁** 今回の調査は、人口減少対策の一環として国の交付金の対象となるため実施する。既存の区画を整備する際に、

山を切り崩した残土を盛土していた土地の有効活用が出来ないか検討する目的がある。

**質疑** 有効な財源を活用して事業を行う事は理解できるが、分譲宅地として開発する場合には土地が残ってしまうという事が無いよう、販売活動を十分行なってほしい。

議案第66号 平成26年度一般会計決算

平成26年度決算額は、

歳出 239億5,033万9,399円  
歳入 248億2,192万2,318円  
差引残額 8億7,158万2,919円  
となり、前年に続き黒字決算となりました。概要は次の通りです。

ヨメコイサイカイ事業について

農業後継者の婚活事業として平成26年10月と平成27年2月に開催した『ヨメコイサイカイ』事業について次のような質疑がありました。

**質疑** どのような事業だったのか。カップルは誕生したのか。

**答弁** 1回目は、男性13名、女性11名が参加し、3組のカップルが成立。2回

目は男性14名、女性17名が参加し、2組のカップルが成立した。

**質疑** 農業者だけでなく商工業者など、様々な職種の人を対象とした事業としてはどうか。

**答弁** 参加者アンケートの結果でも、農業後継者だけでなく、一般のサラリーマンなども含めた交流もしたいとの要望があつたため、今後その様な形で取り組みればと考える。



保育料の未納について

保育施設の利用者負担金である児童福祉費負担金の未納額は現年度分が44万2,560円、過年度分が1,107万3,200円となっている。これについて、次のような質疑がありました。

**質疑** 最も古い未納分は何年からか。

**答弁** 平成14年から滞納している。

**質疑** 収納対策はどうしているのか。

**答弁** 市外に引っ越した滞納者もいるが、文書で通告したり直接訪ねて交渉し

たりしている。また、新たな滞納者を出さないよう徴収現場の対応を強化している。

**質疑** 通知催告を十分行い、極力債権放棄しなくて済むように努力してもらいたい。

総務文教常任委員会では、6件の議案と2件の請願を審査しました。

議案第61号 西海市企業立地奨励条例の一部を改正する条例の制定について

西海市に企業を誘致するため、立地企業に対する奨励制度の充実化が図られました。

西海市に進出した企業が工場等を新たに設けた場合に、その操業を支援する奨励制度について定めた「西海市企業立地奨励条例」の一部を改正する条例案が提出されました。

これまでは、従業員の雇用に対する「雇用奨励金」だけが規定されていましたが、今回、用地取得や施設整備、住宅整備など様々な項目を新設し、企業を強力に支援することで、西海市への企業誘

致を促進する内容に改められました。

審査の過程では、次のような質疑応答がありました。

**質疑** この奨励金を得て用地を取得した企業が、その後、土地を転売するようなケースも考えられると思うが、そのようなケースに対する対応はどのように考えているか。

**答弁** 進出した企業との間で締結する協定の中に必要な規定を設けることになると思う。ただ、所有権に基づく権利をどこまで制限できるかについての検討も必要であると考えており、その企業と十分な協議を行いながら慎重に進めて行く必要があると考えている。

**質疑** 用地の売却単価は、1平米当たり5,000円としているが、この奨励条例の規定によって、その2分の1が助成されることで、実質的には1平米当たり2,500円になると考えてよいか。

**答弁** お見込みのとおりである。

厚生常任委員会では7件の議案について審査しました。

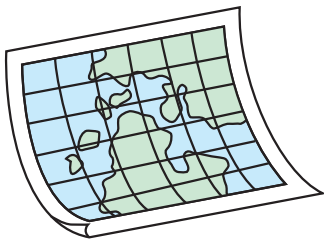
議案第80号 西海市介護保険特別会計補正予算(第2号)

### 社会資源マップを作成予定!

現在、介護冊子には介護保険サービス事業所等の情報について掲載していますが、今回の補正予算で、資源マップ(弁当の配達、送迎等を介護保険サービス以外で行っているようなところの情報を掲載したもの)を作成する予定です。

**質疑** 第6期介護保険計画の冊子に掲載されているような、介護施設情報が記載されたものか。

**答弁** 現在の冊子には介護保険のフォーマルなサービスを掲載しているが、それだけでは足りない部分を補う目的で、インフォーマルな情報を掲載したマップを別に作成予定である。ケア会議を使ってマップ作成に取り組み予定だが、同時にケア会議の中で、西海市にどのようなサービスが足りないのかという部分も明らかになると考えている。「地域の皆さんで支える」という体勢づくりが、出来れば良いと考える。



議案第65号 西海市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

福祉医療費助成事業の対象が中学生までになります。(平成28年4月受診分から)

従来実施している乳幼児福祉医療費助成事業の対象者を平成28年4月から小学生・中学生まで拡大します。

**質疑** 対象者が中学生まで拡大することに伴い、償還払いから現物給付への変更はあるか。

**答弁** 現物給付については、県下で一齐に足並みをそろえなければ、関係機関の事務処理システムや医療機関との契約の関係で、実現が出来ない。その為には、県や関係機関の力が必要になってくるため、今後は県下の状況を見ながら協議や調整が必要になる。

産業建設常任委員会では、決算認定4件、補正予算2件、権利の放棄1件の計7件の議案を審査しました。

議案第69号 西海市簡易水道事業特別会計決算認定について

**質疑** 水道料金は、全て納められているのか。

**答弁** 平成26年度については、水道事業会計で97・9%、簡易水道事業会計で93・7%が納められています。

**質疑** 収納率を上げる為にどのような対策を取っているか。

**答弁** 支払いが長い期間滞っている悪質な場合には、給水を停止している。これからも給水を停止する件数を増やしていきたい。収納が上がるよう対応していきたい。

議案第70号 西海市下水道事業特別会計決算認定について

**質疑** 西彼町の水洗化率が低いようだが。

**答弁** 説明会やアンケート調査を行ったりして、対応をしてきた。徐々にではあるが、水洗化率は増えてきている。

**質疑** 市全体の水洗化率は。

**答弁** 平成26年度末で66・86%です。

**質疑** 下水道料金の収納状況は。

**答弁** 平成26年度では、下水道使用料の収納率は99・76%。滞納繰越分が39・87%です。



## 二 企業誘致について



いわもと としお 議員  
**岩本 利雄**

**問** 企業誘致は、本市の重要施策の一つとして合併当初から取り組んできており、特別な事業ではないが、この事業が計画通り実施できるかどうかにかんして西海市の将来がかかっているといっても過言ではない。最近、県内の企業誘致については好調との報道もあれば苦戦との報道もある。本市の西彼町風早地区工業団地においては、第一期造成完了分の分譲完了目標年度である平成29年度に向け、現時点でどのような見通しに立っているのか。また、旧長崎オランダ村Cゾーンのハウステンボスによる活用計画に対し、その後の動きについて伺う。

**市長** 県内の企業誘致については、佐世保市のウエストテクノ佐世保に昨年以降自動車関連企業が相次いで進出するなど、企業立地に明るい傾向にあると認識している。また、長崎県産業振興財団によると、立地企業が長崎に進出を決めた理由の主なものは、まず立地条件、人材、優遇制度であり、工業団地の整備や優遇

制度の充実が、企業誘致に確実にプラスになっていると伺っている。このようなことから、西彼町風早地区工業団地への企業誘致を推進するため、他市町村と比較して劣っている項目を見直し、立地条件の不利益を解消するための項目なども含め差別化を図るため、今議会に企業立地奨励条例の改正議案を提案している。これまで以上に長崎県産業振興財団と連携し、積極的な誘致活動を行い早期に分譲が完了するよう努力する。

旧長崎オランダ村Cゾーンのハウステンボスによる活用計画については、いまだ正式な申し入れはないが、利活用が早期に実現するよう、今後機会を捉えて協議を進めていく。



利活用が期待される旧長崎オランダ村Cゾーン

## 二 行政区の統合について



なが た りょういち 議員  
**永田 良一**

**問** 市には88行政区があり、西彼15、西海12、大瀬戸30、大島18、崎戸13である。近年人口減少問題、少子高齢化等により、組織力の低下が懸念されている地区も見受けられる。隣接する行政区との統合により負担軽減や組織力の向上などメリットがあると思うが。

**市長** 端的にこの行政区のあり方については、竹を割ったようにはいかない。少しでも早く統一ができるところや又、分区制度がとれるところなど、今後とも十分、区長連絡協議会や88の行政区長との協議を進めていく考え。

## 二 西海市が三井松島産業から借り受けている借地料について

**問** 合併10周年目を迎え、行政改革や商工業振興など、10年間で大きく変化した。反面、変化していない部分も残っており、大島町の三井松島産業から借り受けている土地は、現在2年ごとに賃借料の値上がりが続いており、本年度も5,820万

2,500円を支払う事になっている。今後の対応は。

**市長** 本年度において、真砂団地周辺一帯約三万平方メートルについて、購入予定で交渉を重ねたが、現時点では継続交渉中である。

**問** 10年間で購入した土地は。

**市長** 21年以降1件で、8筆42

59・8平方メートルである。

**問** 会社側に返還した土地は。

**市長** 一部解約を含め7件、総面積1万7,611・38平方メートル。また、転賃借地の解消件数は2件。449・25平方メートルであり、今後もこの賃貸借の解消については、会社側と交渉を重ね、取得に向けて努力する。



継続交渉中の真砂改良団地周辺



みやもと かずあき 議員  
**宮本 一昭**

### 新庁舎建設について

**問** 市役所については各委員会や各部署が手狭なために、各所に散在をしている状況であり、利用者には不便をもたらしている。全ての委員会、部署を一つの施設に集約し、効率的で機能性と利便性のある新庁舎の建設について伺う。

**市長** 現在の庁舎は、事務スペースが不足しているために、本庁舎、第1、第2、第3、第4別館、大瀬戸保健センター、教育委員会が配置されている旧九電ビルと分散しており、事務の効率化や行政経費の面からも改善が求められている。社会情勢の変化や市民のニーズを踏まえながら検討が必要考えである。

### 高度情報通信基盤整備事業について

**問** 高速かつ超高速インターネットアクセス整備について、早急な対応が求められている。しかしながら、情報通信環境の地域格差やインターネットの操作に不安な高齢者がいることも確かである。全市的な高速通

信網の整備普及を図るとともに、独自のケーブルテレビ局の開設等を早急に検討すべきではないか。

**市長** 全市的な高速通信網（光ケーブル）の普及促進については、市民の皆様への情報格差の是正のため重要な課題であると認識しており、光ケーブルなど超高速インターネット基盤の整備にかかる費用の積算を行っている。市政をわかりやすく情報提供する手段の検討はぜひ必要であり、西海市ウェブサイトの新更新やテレビのデータ放送などを利用した情報提供については、積極的に検討させて頂く。



【第3別館】



【第1別館】



【第5別館】



【第4別館】

### 日本版CCRC構想について



わたなべ とくろ 議員  
**渡辺 督郎**

**問** 日本版CCRC構想とは、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものである。本市の総合戦略の素案に残念ながら盛り込まれていない。

CCRC構想について、市長はどのような見解を持っているのか。  
**市長** 介護保険料に対する市の財政負担の増。介護職についての人材確保が厳しい状況。また本市の総合戦略の特徴は、若い子育て世代をターゲットにしているため、総合戦略には盛り込んでいない。

**問** CCRCの政策はまちづくり、健康・医療・介護、地域活性化、産業、雇用、社会参加、多世代共創など、横断政策が必須である。その形態も施設型、地域型、または町レベルなど、様々な考えられている。その中で、瀬戸地区は、医療施設、福祉施設、市役所、商業施設、スポー

ツ施設、保育園、小学校、中学校、高校等がコンパクトに集まっている地区である。この構想を進めるのに、非常にポテンシャルが高い地区である。瀬戸地区公民館周辺地域の開発をこの構想の芯に据えて、地域全体をCCRCによる街づくりを公民連携で進めることを提案したい。市長の見解を伺う。

**市長** 瀬戸地区に限らず、こういったCCRC的な健康で安心して長生きできる環境を作るとは政治の役目である。あと一回総合戦略の有識者会議も残している。会議ではそのことも含めて議論しているところである。



他の質問…NHKラジオ放送受信状況の調査と受信改善の要望について



とも なが たか ひろ  
**朝長 隆洋** 議員

### 二 西海市PRの強化を

**問** 地方創生の時代に入り、他市にない西海市のすばらしさと、これからの具体的行動指針を全市民の方々に共通認識して頂き、さらには市外に対しても積極的に広報活動を実施し、政策を押し進めるべき。

**市長** 西海市の人口ビジョン及び総合戦略については、策定の段階から市内の産業、企業、金融機関、労働、報道、市民の代表者で構成する西海市総合戦略策定有識者会議の場において、その概要や素案に対し、さまざまな立場の方々からご意見やご提案を頂いており、市民の皆様が自分のこととして深く認識し、一緒に考えて頂くことができた。

また、総合戦略においては、全体の概要についてもPRすることにより、西海市がさまざまな角度から住みたいまちづくりに邁進していることについても、魅力として感じて頂き、各事業が相乗効果を発揮できるようにする。シティープロモーションによる、民間の方々や企業と連携を深める。

**問** 経済的理由により、進学等を悩んでいる子どもたちも、将来、自分たちがなりたい仕事に就き、西海市に残って頑張っていきたいという思いをきちんと市が支える奨学金制度が極めて大切ではないか。

### 三 教育委員会の地方創生戦略は

**教育長** 奨学資金償還免除制度等を検討し、定住促進につなげて参りたい。大学進学など、向学心に燃えても、経済的な理由で断念せざるを得ないお子さんについて、奨学金制度は非常に重要である。西海市は市内に3つの高校があり、大学進学で市外に一旦出ないといけないが、卒業後に戻って就職して頂き、地域を担う人材になって頂くようにしっかりと検討していきたい。



奨学資金償還免除制度等の検討を



なか の よし お  
**中野 良雄** 議員

### 一 漁業経営の安定化を図る 水産業の振興と人材育成を

**問** 水産業を取り巻く環境は、漁獲量の減少や魚価の低迷、燃油高騰、担い手不足など厳しい状況である。漁業者の所得向上に繋げる施策と水産物の販路拡大を伺う。

**市長** 漁業者の所得向上を図るため、国の承認を受けた「浜の活力再生プラン」に基づき、国や県の補助制度を活用し取り組んでいる。漁業収入の増大対策として、水産物のブランド化や販路拡大、料飲店等との直接取引、漁業経営の多角化の推進、漁業コスト削減のため省エネ機器の導入等に取り組んでいる。

**問** 水産資源の確保と藻場回復の施策を伺う。

**市長** 水産資源の確保については、栽培漁業推進協議会を中心に、カサゴ・クエ・アワビ・ヒラメの種苗放流等を実施すると共に、アオリイカ産卵礁設置を市単独で支援している。また、国の事業を活用して母藻設置やウニ駆除等を実施している。

**問** 漁業経営の安定化施策を伺う。

**市長** 国の漁業経営セーフティネットに加入する漁協正組合員を対象に、A重油等1リットル当たり10円の助成や省エネ対策として漁船の船底清掃等に支援を行っている。

**問** 漁業を担う人材育成策を伺う。

**市長** 新規漁業就業者の確保と育成を図るため、県の事業を活用して、漁業就業希望者の研修期間中の生活費や漁業種類の多角化を図るための定着促進研修に要する経費の支援を行うと共に、独立後1年以内の新規就業者の漁具購入に支援をしている。また、今年度から中堅漁業者で所得向上に意欲を持つ漁業者が取り組む漁船推進機関のオーバーホールや省エネ機器の整備に支援をしている。



水産業の振興を

他の質問…環境美化について





ひらの なお ゆき 議員  
**平野 直幸**

### 地域創生の具体策には産炭地協議、人口増、離島の構築を

**問** ①産炭地域振興のため企業及び産炭関係者参加の産炭地域創生協議会（仮称）を設置して進めては。②地域創生と人口減少対策の切り口に、日本版CCRCを取り組めないか。③離島の構築のため、電源対策上、江島小中学校に太陽光発電施設の設置はどうか。

**市長** ①地域振興のためには、関係する企業側と情報交換の場を設定しなければと考えている。活性化のため、あらゆる視点から研究したい。②人口ビジョン、総合戦略として有識者会議を経て、西海市版CCRCを検討したい。③江島・平島地区のように限られた地域において、再生可能エネルギーを有効活用できれば、自給自足による特徴的なまちづくりを進めることが可能となるため、今後も研究して参りたい。

### 西小・南小の新設校は伝統ある教育の樹立を図れ

**問** 西海南小と西海西小は、郷土の歴史を育みつづ新設開校に向け準備中であるが、①伝統ある教育は、どのようにして継続していくのか。②郷土の歴史はどのようにして学ぶことになるのか。

#### 教育長

①これまで取り組んできた地域の特色や良さに触れたり、学んだりする学習活動を、新たな校区においても、行事やカリキュラム等に位置づけるように検討している。②校区内には七釜、中浦、太田和地区があり、地区ごとに多様な歴史や風習がある。新設校においても郷土の歴史や伝統行事に親しむ機会を設けたい。この中で、楠本先生の偉業も取り上げて頂けるよう考えたい。

※楠本 長三郎（1871-1946）  
西海町中浦郷出身の内科学者。府立大阪医科大学を卒業後、大阪帝国大学（現在の大阪大学）を創設した人物。大阪大学では、現在も優秀な卒業生に「楠本賞」が贈られている。



産炭地の創生は課題（崎戸町）



なかのお きよ とし 議員  
**中尾 清敏**

### 西海市水道事業統合計画について

**問** 肥前大島港工業団地造成計画により大島造船所の事業拡大、関連企業誘致も検討されているが工業用水の確保は。また、ダイヤソルトの原水を大島造船所へ給水してはどうか。

#### 市長

大島造船所の説明で、事業拡大に伴い大量に水を使用する工程はないとの回答であった。ダイヤソルトの原水の給水については、水道事業で行う事は出来ない。企業間の協議になる。

### 観光振興計画について

**問** 七釜鍾乳洞界隈活用計画の課題と用地確保について伺う。

#### 市長

日本に一つしかない、化石の森を自然の状態で散策できる状態にし、保存する。七釜鍾乳洞観光ホテル跡地付近での民間活力による交流施設等の活用促進をする。市が責任をもって用地の確保事業など観光客受け入れの整備を図る。

#### 問

さいかい市民ミュージアム創

設の展望を伺う。また設置場所として、七釜鍾乳洞界隈に設置を望むかどうか。

#### 教育長

西海市歴史民俗資料館の有り方検討委員会から西海市市民ミュージアム創設は、現在の大瀬戸、崎戸、西海の歴史民俗資料館3館を集約し、1館拠点となる新たな施設の創設の提言を頂いている。今後、庁内検討会議を踏まえて市議会、市民の皆様説明しながら、創設の具現化に向け取り組む。

### 農業基盤の向上について

**問** 伊佐の浦ダムを利用した畑かん用水供給地区においての基盤整備については。

#### 市長

畑かん施設は西海町全域を受益地として整備している。現在、面高地区において整備面積50ヘクタールを計画している。



建設中の浄水場（旧西海南中学校）



こしま としき 議員  
小嶋 俊樹

### 二 企業誘致について

**問** 企業誘致に取り組む上で、最も基本的なスタンスは何か。

**市長** 雇用の創出というものがまず第1である。人口減少に歯止めをかけるためには、働く場所を確保することが先決であり、若年層の市外への流出が抑制され、Uターン、Iターンなど市外からの流入を促進できるものと考えている。

**問** 現在の工業団地の進出状況を踏まえた今後の誘致活動についての考えは。

**市長** 日本経済を取り巻く環境を鑑みると、企業誘致の可能性は十分あると考える。業種については、特に指定はしていないが、多くの雇用が見込める製造業を中心に、土地、人材、それから優遇制度などを前面にPRしながら、積極的に展開したい。

**問** 地場産業との連携で新たな産業クラスターをつくれるか。

**市長** 肥前大島港の埋め立てによる大島造船所の事業拡大の計画に今年度より着手したが、これは、大島

造船所を中心とした造船関連企業の集積であり、一種の産業クラスターであると考えている。

また、経産省の工場立地動向調査では、業種別に第1位は食料品となっており、地域の農水産物を活用した食料品を製造する企業の誘致は十分に可能である。

**問** 崎戸地区に進出予定だった野菜工場がなぜ断念されたのか。

**市長** 立地に当たり、市場調査を行った結果、生産品の同種の野菜の小売単価が非常に低いこと、また、産炭基金事業の雇用要件に係る人件費がかさむことなどが挙げられ、収支のバランスがとれないという理由であった。崎戸地区への企業誘致にとも期待しており、皆様に対して大変、申し訳ない気持ちでいっぱいである。



風早地区工業団地



とらふ よしひこ 議員  
戸浦 善彦

### 西海市漁村・農村の活性化の 為の環境整備について

**問** 地場産品の販売環境整備についての考えを伺う。

**産業振興部長** あらゆる手段を使って、販売に取り組んでいきたい。

### 西海市教育・子育ての為の 環境整備について

**問** 市内小・中学校のトイレの環境整備について。

単独処理浄化槽式を採用している学校も残っているようで、悪臭や害虫の発生など、衛生面の環境悪化が懸念されるが、合併処理浄化槽への予定はあるのか伺う。

**市長** 合併処理浄化槽未整備で、蚊の発生や、においの蔓延があるとすれば、できる限り早く、一日も早く整備をしていく必要がある。

**問** 本年十月一日から市内唯一の公共交通機関である路線バス運賃が値上がりされます。県内他市の取り組みを参考に、市内県立高校へ通学・進学する市民への、市としての支援策はないのか伺う。

**市長** 市内高等学校3校の校長連盟で通学環境整備の中で負担軽減の助成要望が提出されている。また市内中学校卒業生の市内の高校への進学率も低く、生徒数の減少で活性化が図りにくく、やがては存続さえも危うくなることも想定されるので、交通環境整備については前向きに検討する。

### 西海市地域・集落再生の為の 環境整備について

**問** 今、西海市版地方創生を考えると、現在の市役所本庁、総合支所、教育委員会などの行政機能や設置場所等、市民の利便性を念頭に今後の西海市の未来を描いているのか伺う。

**市長** 将来的なまちづくりを考える上で、本庁の一本化について今後とも検討する。総合支所は、地理的な現状から今後とも存続し、ワンストップサービスを基本とし、身近な行政サービスが提供できるように努める。



合併処理浄化槽未整備の西海東小学校



あさ だ なお ゆき 議員  
浅田 直幸

### 三不妊・不育治療について

**問** 西海市においても、子どもが欲しくて治療をうけても、経済的理由からなかなか治療に踏み切れず悩んでいる夫婦がいる。そこで、治療費が高額のため、県の特定不妊治療助成制度のほかに西海市独自の助成金制度を創設できないか。

**市長** 内容により治療費及び助成の金額は異なりますが、県の助成額は3分の1程度になっており受診者は相当の治療費を負担している。このような状況から、経済的理由で治療に踏み切れない方のためにも必要な助成制度であると認識しており、制度創設に向け助成対象や助成内容について今後検討する。

### 日本代表候補に対する支援について

**問** 日本代表候補として招集された場合、高額な活動費用が必要となる。今後、日本代表候補が輩出された場合を想定し、物心両面からの支援が検討できないか。

**教育長**

西海市民の中から日本代



車イスバスケットボール試合風景

表選手や強化指定選手が選ばれることは市全体にとっても喜ばしいことであり、今後、強化費助成内容等を調査し前向きに検討する。

### 市内高校の今後のあり方に関する協議会等設置について

**問** 市内高校の3校について、将来どのような形で学校運営がなされたいのか検討する時期にきているのではないか。そこで、まずは十分な議論、検討の場を設けてみては。 **教育長** 市長部局の関係課を交えて、今後も市内高等学校の活性化を図るため、各高等学校の関係者、地域の関係者、市関係者等で構成される協議会の立ち上げ等を検討する。

### 二 出産支援を市全域に広げて

**問** 本市には離島地域の出産を支援する事業があるが、産科医療機関がないのは離島だけではないので、地域全体に広げ安心して出産できる環境を整えるべきではないか。 **市長** 離島以外の地域は自家用車利用者がほとんどで、乗り継ぎを必要とせず、ある程度容易に健康診査や出産のために通院することができるとして、助成の対象としていない。



あいち せ えい こ 議員  
刈瀬 栄子

### 市職員数の大幅な削減が行政サービスの低下を招いていないか

**問** 西海市定員適正化計画による職員数の大幅削減と、総合支所の組織変更などにより、職員一人ひとりの事務量が増大し、事業執行の遅れや市民への行政サービスの低下を招いていないか。

**市長** 4減1増により合併後の職員数削減を図り人件費を抑制した。国や県からの権限移譲により事務量は増加しているが、低下しないよう

### 臨時・非常勤職員の待遇改善を

**問** 臨時・非常勤職員は何人か。その割合は。働く貧困層と言われる年収二百万円以下の人数と割合は。待遇改善は図られているか。

**市長** 今年8月1日現在で非常勤職員184人、臨時職員20人、全体に占める割合は36・9%である。年収200万円以下の職員は55人で9・9%である。非正規労働者に対する制度改正の動向にも留意して待遇改善に努める。



他の質問…体育協会の一般社団法人化及び公共施設等管理公社の解散に際して生じた労働問題について

# 産業建設常任委員会

## 一次産業の振興について

調査日 平成27年8月18日(火)

調査場所 議会委員会室

### 調査概要

産業建設常任委員会では、西海市の主な産業である一次産業の振興について産業振興部から説明を受けました。

特に農水産物については、ブランド化や加工をすることで付加価値を付け、生産者の所得の増加を第一に考え、西海市農業振興公社や農業協同組合、市内漁業協同組合と協力していくとの説明がありました。

また、六次産業化の開発にも取り組んでおり、先に西彼農業高等学校が開発した西海市の特産品を使ったパンの、製造から販売に至るまでを、西海市農業振興公社と連携して取り組んだとの報告もありました。

### 水産物ブランド化

(1) 水産加工品



西彼農業高等学校が開発した「西海ブレッド 02」

うず潮カキ  
農産物ブランド化品

(1) みかん

味噌マン

長崎の夢

セレクト

まろやかさん

旬(しゅん)

(2) ジャガイモ

(3) ゆで干し大根

うず潮カキオイル漬

せと一先

クエ(アラ)

崎戸天然伊勢海老

# 総務文教常任委員会

## 観光施策について

調査日 平成27年7月27日(月)

調査場所 現地(市内各観光関連施設)及び議会委員会室

### 調査概要

総務文教常任委員会では、西海市にとって最重要施策である観光施策に関し、市内各観光関連施設の現状を視察するとともに、現行の観光振興計画についての検証及び今後の西海市の観光施策の展望について調査を行いました。

午前中、さいかい力創造部長ほかの同行を得て、市内の主要観光関連施設である尻久砂里海浜公園、中浦ジュリアン記念公園、七ツ釜観光ホテル跡地、伊佐ノ浦公園及び旧長崎オランダ村施設の現状等について説明を受けながら視察を行いました。

午後は、市役所3階の議会委員会室において、さいかい力創造部長ほかの出席

を得て、西海市の観光施策の現状や計画等について説明を受けたのち、質疑応答がなされました。

### 【主な質疑応答】

**質疑** 市民に観光振興への意識を持って頂くことが必要。地域の美化などの意識付けも必要。この点が計画にないと思うがどうか。

**答弁** 高い意識を持って頂けるよう努力したい。

**質疑** 市の計画や取組み内容が市民に十分周知出来ていない。施設はあるが賑わいが無いと感じる。地域を巻き込んだ形での取組みが必要。

**答弁** 現行の観光振興計画は、平成28年で策定から10年になる。今後見直しを進めて行く中で、説明会を開くなど市民の理解を得て行きたい。

**質疑** キリスト教関連遺産の世界遺産登録の見直しと今度の計画見直しとの関

連で、どのような検討を行っているか。

**答弁** 外海から横瀬までのラインは、サンセットロードでもありキリスト教関連遺産もあるため、今後どう誘導して行くか検討して行きたい。

### 【所感】

西海市は、多くの観光施設、景勝、地域に伝わる物語、温かい人柄や継続的な取組みが存在するが、それらが外から見た場合に必ずしも観光資源として捉えられ、需要対象化するとは限らず、都会の人から見た場合の観光資源が、同じ九州の田舎から来訪する人にとっても新鮮に映るとは限らない。

どんな希少価値や優位性があるか、どんな手法でどこをターゲットにアピールすべきか、十分な分析を行う必要がある。単なる地図上のルート化や既存施設等の列挙と紹介では実効性は乏しい。本市の観光施策は、この前段の作業が欠けている。

当委員会は、今後も、これらの課題への対応状況に加え、新たな観光振興計画の策定段階で必要な提言を行えるよう、適宜調査を継続したい。



旧長崎オランダ村施設

# 厚生常任委員会

# 基地対策特別委員会調査報告

## 子ども・子育て支援事業の現状について

調査日 平成27年7月28日(火)

調査場所 多以良保育園及び大瀬戸コミュニティセンター、市役所本庁舎委員会議室

**調査概要** 保育現場の視察後、西海市私立保育園協会と新制度の施行後の問題点について意見交換を行った。その後、子ども・子育て支援事業の現状について、意見交換で議論が集中した内容を中心に担当部局から説明を受け質疑応答を行った。

### (1) 西海市私立保育園協会との協議について

平成27年4月に施行された「子ども・子育て新制度」の利用調整の問題については、施行前後に、保育現場や保護者間では、混乱が生じていたが、7月に取扱方針の一部を変更したことで、一定の解決の目途がたってきた。しかし、希望保育園以外の園へ通う利用者への説明や対応については今後も課題が残っている。

また、軽度発達障害など療育支援を必要とする園児に対しての保育士の人員配置への考慮や、アレルギーを持つ園児への給食提供に係る調理員の配置について、国が定める基準の人員数では、職員の勤務体系に無理が生じることから、必要に応じて、各園で増員している現状が報告された。

### (2) 子ども課との協議について



委員と私立保育園協会との意見交換会の様子

利用調整については、方針の変更により、概ね保護者や保育協会からの要望に沿う形になってはいるものの、施設の保育基準の範囲内での適用となることなどから、今後は保育園と定員の見直し等も含めて、利用者の希望をかなえられる保育の実施についての協議が必要である。保育士の処遇・雇用問題については、新制度を活用し、質の高い保育サービスを提供し、子どもを産み育てやすい環境を構築する責任からも、現在の国・県からの財政的支援に加え、市独自の財政的な支援策も必要ではないかといった前向きな見解も示された。

## 基地対策について

調査日 平成27年8月5日(水)

調査場所 米海軍佐世保基地

九州防衛局(福岡県)  
行橋市役所(福岡県)

**調査概要** 米海軍佐世保基地内を視察し、佐世保基地及びL C A Cの重要性の説明を米海軍佐世保基地司令官から受けました。その後、九州防衛局において、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づく民生安定補助事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業のメニューについての調査を行いました。翌日、福岡県行橋市役所において、担当職員から周辺環境整備事業及び基地の所在による諸問題と取組みについて聞き取り調査を行いました。

今回の調査では、佐世保基地司令官から、防衛省が新たに佐世保市に水陸機動団を作り、佐世保市相浦地区及び崎辺地区に連隊が配備されるという計画があること。米政府が太平洋に重きを置くという方針であり、L C A Cの更新が計画されていることや最新鋭揚陸艦であるグリーンベイが佐世保に配備されたこと等により、米海軍に限らず自衛隊にとっても佐世保湾全体が大変重要な位置になってくるとの発言もありました。今後は、佐世保湾に所在する自治体として、佐世保市との連携をさらに密にすべきと考え



米海軍佐世保基地内にて

ています。  
また、九州防衛局及び行橋市においては、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に謳われている民生安定助成事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金について、改めて概要と対象となるメニューの調査を行いました。  
基地との因果関係とアイデアがあれば、防衛省の補助事業は大変有利な財源となるものであり、政策提言に活かす事が出来るよう当委員会としても今後も継続した検証と調査を行ってまいります。

# 市議会本会議を傍聴してみませんか？

西海市議会の本会議は公開されており、  
どなたでも自由に傍聴することができます。

- 1：会議の場所 本会議場（西海市議会本庁舎3階）
- 2：傍聴できる人数 60人
- 3：傍聴受付場所 本会議場前傍聴受付  
(所定の用紙に住所氏名等を記入して頂きます。)
- 4：傍聴受付時間 本会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けています。  
(先着順に傍聴券を交付いたします。)



平成27年第3回定例会会期中はのべ41人が議会を傍聴しました。

## 議会だより 第41号について

今号から文字の大きさと文字数を変更し、より読みやすい市議会だよりの作成を心がけました。また、普段、議員と接する事のない市民の方にも、議員を身近に感じていただけるように、普段の姿を表紙写真として掲載しております。

### 【表紙写真について】

表紙の名議員の紹介

- ①佐嘉田敏雄議員(議長)
- ②中里悟議員
- ③戸浦善彦議員
- ④小嶋俊樹議員
- ⑤中尾清敏議員
- ⑥浅田直幸議員
- ⑦永田良一議員
- ⑧朝長隆洋議員
- ⑨井田利定議員
- ⑩平野直幸議員
- ⑪岩本利雄議員
- ⑫杉澤泰彦議員(副議長)
- ⑬田口昇議員
- ⑭田崎耕太議員
- ⑮佐々木義信議員
- ⑯宮本一昭議員
- ⑰中野良雄議員
- ⑱渡辺督郎議員
- ⑲瀨瀬栄子議員



大島町在住  
森 博

## 西海市創生に向けて

団塊の世代が高齢者になった今日、地方の創生が取りざたされるようになった。

その第一が、人口の減少をいかにして、くい止めるかである。日本全体の問題でもあるが、少子・高齢化はそう簡単に解決できる問題ではない。西海市誕生時は3万人を超えていた人口も今や、2万8千人余りとなってしまった。これ以下に人口が減少する事はどうしても阻止しなければならぬ。その為に、人の働く職場の確保が求められている。企業誘致活動もなされているようではあるが、未だ

目に見える成果はないようである。西海市だけでは無い。他の自治体でも広大な工業団地で雑草が繁茂する原野となっているところが沢山ある。

西海市にはダイヤソルト、大島造船所、電源開発等の優良企業が操業をしている。他の自治体から見れば、羨ましい状況ではないだろうか。大島造船所は将来に向けて、拡大計画もあると伝え聞く。これらの事から、西海市の創生には、企業に勤めている人達に、いかにして、西海市に定住して頂くかという事が重要ではないかと思う。特に若い人達が、子育てをするのに、西海市は魅力ある先進的施策を考え、実行すべきである。西海市(大島)で仕事を終えた人が、船や車で長い時間をかけて帰宅せずとも、西海市でその時間を使って人生を楽しんで貰えるよう、西海市定住が希望や夢を持つて出来るように条件を整えるべきと思う。

## 編集後記

今回の「西海市ぎかいだよ」は、広報公聴委員会が新メンバーに代って2回目の編集作業になります。今後とも、市民の皆様により身近に感じて頂けるよう、また、議会活動を皆様により一層判りやすくお伝えできるよう、協力して参ります。

手始めに、全体のレイアウトに大幅な変更を加え、これまでのものよりも文字の大きさを大きくし、読みやすさに重点を置いています。

文字と写真で議会の全てをお伝えすることは難しいことではありますが、承知してはいますが、議会の広報活動の自己改革とご理解頂ければ幸いです。  
(K・T)

